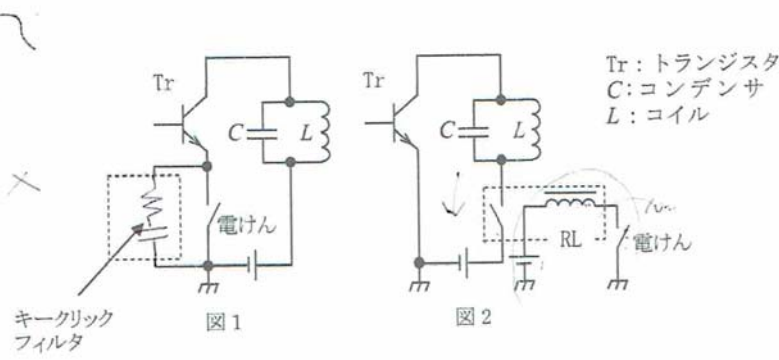


A - 11 次の記述は、電信 (A1A, A2A) 送信機に用いられる電けん操作回路について述べたものである。□ 内に入れるべき字句の正しい組合せを下の番号から選べ。

- (1) 図1は、<sup>コンデンサ</sup>エミッタ回路を断続する場合の回路例を示す。図中の電けんに並列に挿入されているキークリックフィルタは、抵抗と □ A を直列に接続した回路である。
- (2) 図2は、電圧が高い回路や電流の大きい回路を断続する場合の回路例を示す。断続する回路へ直接電けんを接続せず、□ B リレー (RL) を用いて間接的に回路の断続を行う。<sup>キーイング</sup>
- (3) 単信方式では一般に、電けん操作による電けん回路の断続に合わせて、アンテナの切り替えや受信機の動作停止等を行う □ C リレーが用いられる。

A	B	C
1 コイル	<u>キーイング</u>	<u>ブレークイン</u>
2 コイル	ブレークイン	キーイング
3 コイル	<del>キーイング</del>	プレストーク X
4 <u>コンデンサ</u>	ブレークイン	キーイング
<u>5 コンデンサ</u>	<u>キーイング</u>	<u>ブレークイン</u>



キークリック  
フィルタ

図1

図2